

品田 康太

株式会社 KITABA

卒論テーマ 米国ハワイ州における日系人に関わる観光資源に関する研究(歴史まちづくり研究室)

修論テーマ 北海道におけるインフラツーリズムに関わる主体間連携に関する研究(歴史まちづくり研究室)

出身高校
北海道音更高等学校

好きな「まち」
紋別市



1

私が所属している株式会社 KITABA は、自治体の総合計画や個別計画の策定・支援、町内会などのコミュニティやエリアマネジメント組織の運営支援を主な業務としています。私は、そのいずれの分野にも携わっています。計画策定業務では、総合計画をはじめ、景観計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、歴史的風致維持向上計画など、さまざまな計画の策定・支援に関わってきました。運営支援では、地域の関係者と直接対話しながら、課題や将来像を共有し、イベントやアンケートの実施を通じて、地域活動の促進や継続的な組織運営の支援を行っています。

2

現在、私は社会人3年目を迎え、業務内容やその進め方にも徐々に慣れてきました。今後は、将来的に業務の責任者を担うことを見据え、自身の役割や対応できる領域を広げていくことを目標としています。具体的には、自身の業務を効率化するだけでなく、チーム内での作業分担や進捗管理にも積極的にに関わり、業務全体を俯瞰しながら進められるようになりたいと考えています。また、これまであまり関わる機会のなかった資金管理にも挑戦するとともに、成果物の品

質管理にも責任を持てるよう、必要な知識や経験を積み重ねていきたいと考えています。

3

学生時代は、研究及び研究室での活動に最も多くの時間を費やしていました。私は、研究は得意な分野ではなく、何度も失敗を重ねながら取り組んでいたことを記憶しています。そうした中で、後輩の研究指導では、限られた時間の中でどのようにアドバイスすれば良いのか悩むことも多くありました。こうした経験を通じて、情報収集や打ち合わせでの発言の質を高める姿勢などが身についたと感じています。

また、就職活動でのグループワークでは、研究を効率的に進めようと工夫したことや、相手に伝わる発言を意識していたことが活かした場面もあり、自分にとって貴重な学びの機会だったと振り返っています。

4

たくさん考え、悩み、そして挑戦してほしいと思います。就職後には、就職活動中には見えなかった会社や業界の一面が次第に見えてきます。それが「良いこと」であれ「想定外のこと」であれ、自分自身が考え、悩み、挑戦した結果であれば、反省はあっても後悔は少ないと思うからです。そのためにも、情報収集の際には、企業の HP に加えて、自治体の HP に掲載されている入札結果などを確認するのもおすすめです。そこから、自分の関心分野に強みを持つ企業や、地域に根ざしている企業、自分の好きな場所・まちに関わっている企業を見つける手がかりもあるからです。

町内会との連携も視野に入れた若者のコミュニティづくりに関わるイベント



同級生と院生室で(当時はコロナ禍でマスクが必須)



1 どんなお仕事をしていますか?

2 お仕事での目標はなんですか?

3 学生時代に打ち込んだことは?

4 後輩に就活へのアドバイスを!